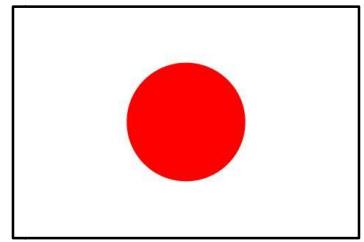
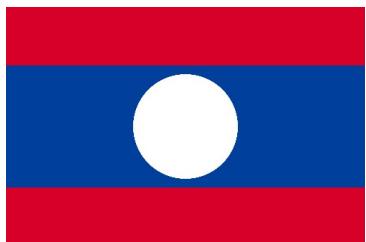




第34回 チェンマイ・神戸YMCA 協働プログラム ラオスワークキャンプ



期間：2020年3月21日（土）～28日（土）



チェンマイ・神戸 YMCA 協働プログラム 第34回 チェンマイ・神戸 YMCA ユースワークキャンプ

2020年3月11~14日、第34回 チェンマイ・神戸 YMCA ユースワークキャンプがラオスのルアンパバーン県 Pak Ou 中等学校にて開催されました。チェンマイ・神戸 YMCA ユースワークキャンプがルアンパバーンで開催されたのは今回で2回目です。しかし、世界中に新型コロナウィルスの感染が拡大したため、神戸 YMCA とチェンマイ YMCA はユースの安全と健康維持を第一に考えラオスのユースのみでワークキャンプを実施することにしました。

プロジェクトの概要：

Pak Ou 中等学校はルアンパバーンの Had Ya 村に位置し、26クラス、生徒755人に教師63人の前期中等教育学校から後期中等教育学校の教育を行っています。ラオスの基礎教育の骨組みによれば Pak Ou 中等学校の校長と教員、教育委員会は、生徒が就職したときにライフスキルだけでなくチームワークやコミュニケーション能力を向上させるために課外活動を取り入れました。

このワークキャンプは、学生や村人にいい環境の大切さを学ぶ場を提供することを目的とした「Greener School Ground and Organic Garden / 校庭の緑化と有機農園」という学校プロジェクトを支援するために実施されました。

ワークキャンプ中、主に2つの活動が用意されました。1つ目は、有機農業と環境保全の技術訓練。2つ目はボランティア活動（有機農園の開発と貯水タンクの設置：学校の有機農園で使用する水のシステム）。

実習訓練には Pak Ou 中等学校、PhonSawang 中等学校、Phone Sai 中等学校、Kok Wan 中等学校、北部農林大学とルアンパバーン技術専門学校から73人の生徒と教師が参加しました。参加者は、大気汚染を抑えるための廃棄物管理や節電や代替エネルギーなどの環境問題に対してどのような配慮ができるかを初めて経験しました。北部農林大学とルアンパバーン技術専門学校より40名のユース、Pak Ou 中等学校より15名の学生がボランティアとして参加しました。ワークキャンプ中、キャンパーは地域開発においてユースの役割について自分たちのアイディアや意見を出し合いました。貯水タンクから有機農園に水を入れる活動を楽しんでいました。

第34回 チェンマイ・神戸 YMCA ユースキャンプはラオスのユース、教師と YMCA 職員の絆を強める機会となりました。この活動は、ワイスメンズ国際協会、六甲部の8クラブ、神戸 YMCA の国際協力募金がなければ成り立ちませんでした。

Photos of Activities

1) エネルギーと環境保全の訓練



2020年3月10日、チェンマイ YMCA のチームとルアンパバーン YMCA 職員、Pak Ou 中等学校、ルアンパバーン技術専門学校と北部農林大学の教師が集まり Pak Ou 中等学校での実習訓練プログラムと貯水タンクの設置と水のシステムについて話し合いました。



北部農林大学 の生徒と教師とともに技術訓練で使用する媒体の練習とボランティア活動の事前ミーティングを行いました。



2020年3月11日、有機農業と環境保全の技術訓練が Pak Ou 中等学校で行われました。訓練のオープニングセッションでは、KhamkongKittikhun 校長が歓迎のあいさつをしてくださいました。生徒や地域がより節電、環境および天然資源保護に関する意識を高める教育を促進する上で教師と学校における役割についてお話をされました。サオヒン YMCA の Ms. SiripanPrawatsomboon は学校や専門学校を歓迎し、実際の環境問題や人、団体、地域レベルによって環境問題の関心が異なることを話されました。



参加した生徒や教師は家庭でのエネルギー効率と節電により、炭素排出量を削減について新しい知識を得ました。また、農地の灌漑で使用するエネルギー削減のために太陽光による水のポンプシステムについて学んびました。



大気汚染と健康被害についてのプレゼンテーションと情報共有で、参加者は森林火災と野焼きから発生するPM2.5の影響で身体に多大な影響を与え、どのように健康を保つことができるか理解を深めることができた。彼らは、森林火災や野焼きを防ぐために廃棄物の分別と堆肥化によって問題を解決する方法を学びました。



参加者はCOVID-19の感染防止に効果的な水と石鹼で20秒手洗いをすることとマスクの着用に高い関心と興味を示しました。

2) 第34回チェンマイ・神戸YMCA ユースワークキャンプ



2020年3月12日、第34回チェンマイ・神戸YMCA ユースワークキャンプに北部農林大学ヒルアンパバーン技術専門学校から40名の生徒とPak Ou中等学校から15名の生徒がボランティア活動に参加しました。プログラムはワークキャンプの成功と参加者の幸運と健康を願った「Baci-Su Kwan」と呼ばれる伝統的なセレモニーからはじめました。



ユースの参加者は水タンクと水のシステムを作るチームと有機野菜農園をつくるチームの2つに分かれて活動しました。水タンクを作るチームは作業について簡単な説明を受けた後ユース全員で水タンクの作製に取り組みました。



2つ目のチーム、参加している学生が鶏や他の動物が入らないように金網で野菜農園を囲みました。



Pak Ou 中等学校の生徒は白菜、朝顔、なす等の野菜がどのように育つかを学ぶために野菜を植える土地を耕しました。ユースボランティアは手を取り合って、野菜の土地に堆肥を加えて土壤中の有機物の量を増やしました。このプロジェクトで計画されてできた野菜は平日の給食として使われる予定です。



プログラムの最後に、有機野菜農園のために使用するタンクが完成しました。これにより、生徒は野菜の水やりで使う水を遠くから運ばなくて済むようになりました。



生徒と教師、保護者が一緒に野菜農園の世話をしています。彼らは園芸や有機農業について初めて知識を得ることができました。



かぼちゃとなすはよく育ちました。朝顔とほうれん草は湿った土壤でとても早く育ちました。生徒たちは菜園が成功し誇りに思っています。プロジェクトでできた野菜は、給食で使われ、生徒が学ぶために1日に必要な栄養が確保できることを願っています。



神戸YMCA国際・奉仕センター

〒650-0001

神戸市中央区加納町2丁目7-11

TEL:078-241-7204 FAX:078-241-3619